

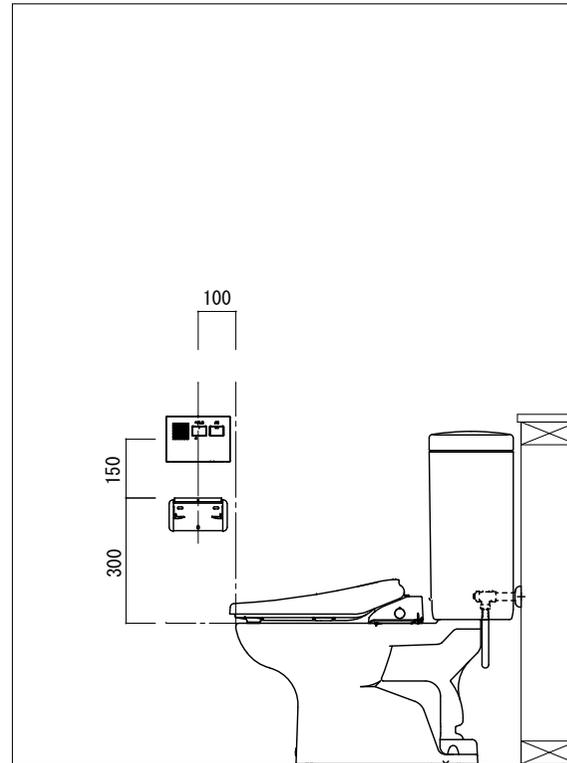
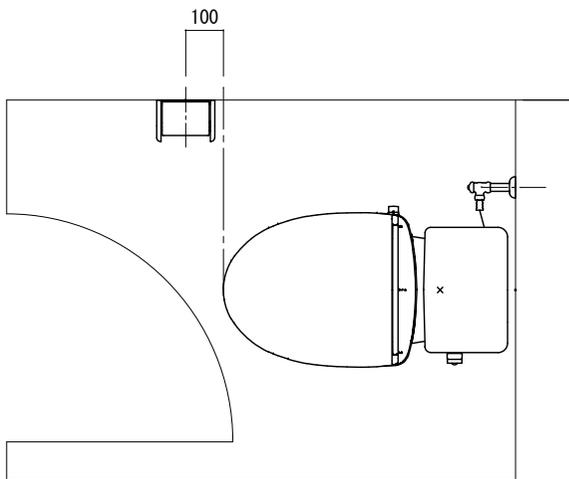
山口県機械設備工事標準施工資料集

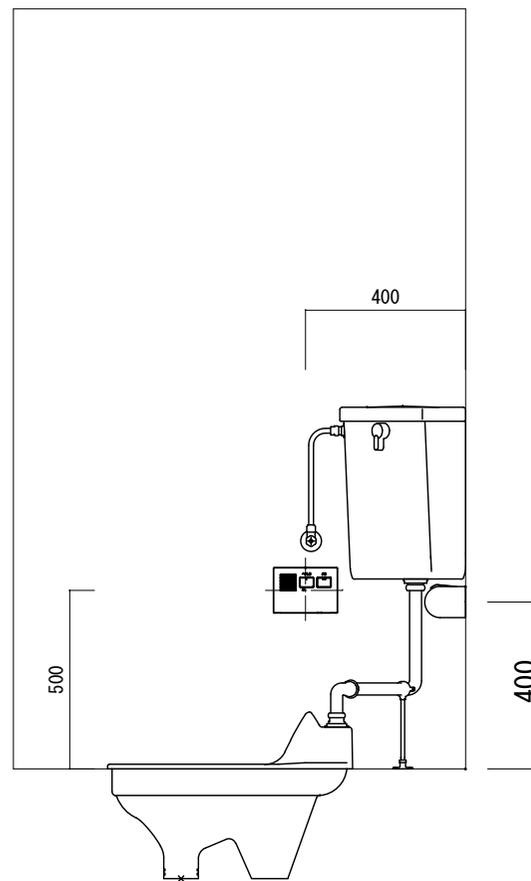
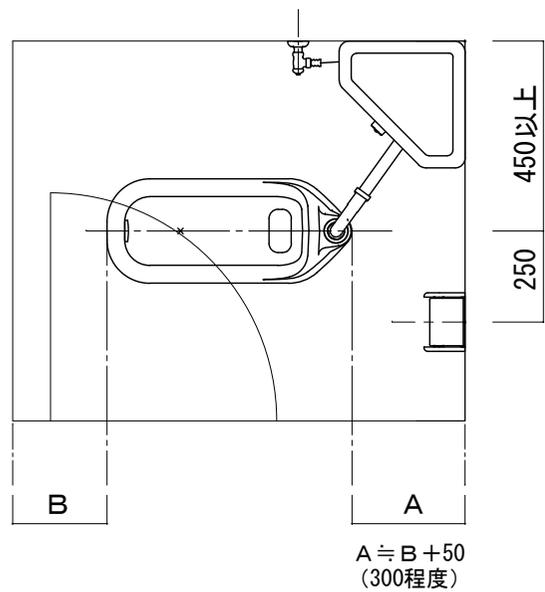
山口県土木建築部建築指導課

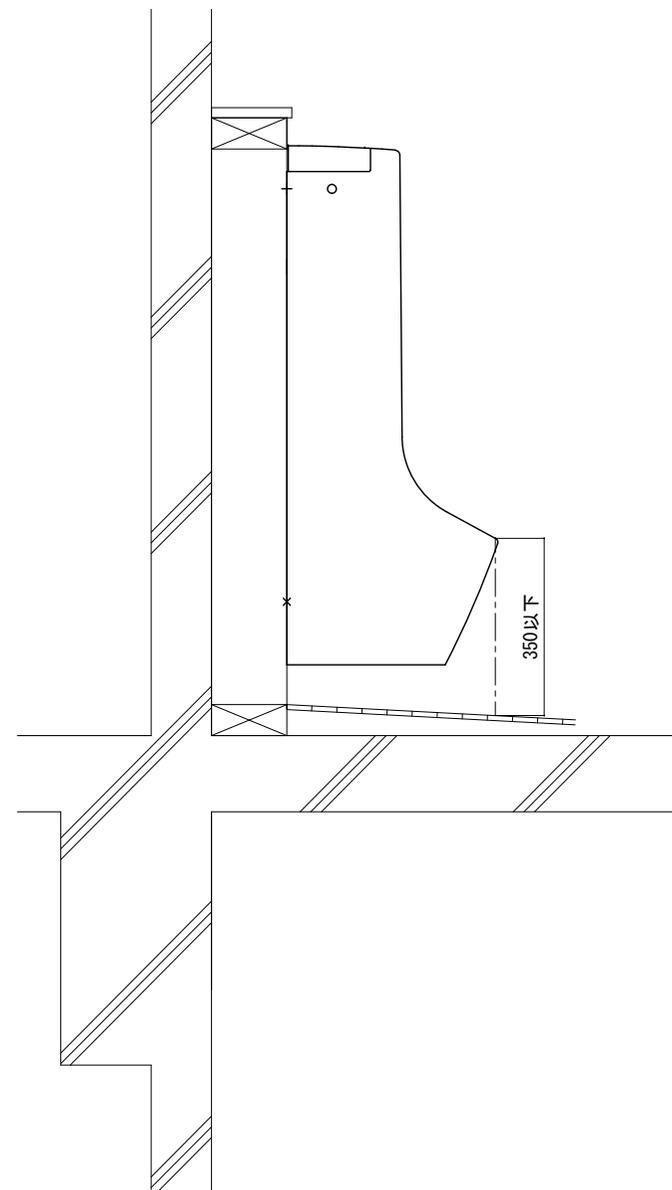
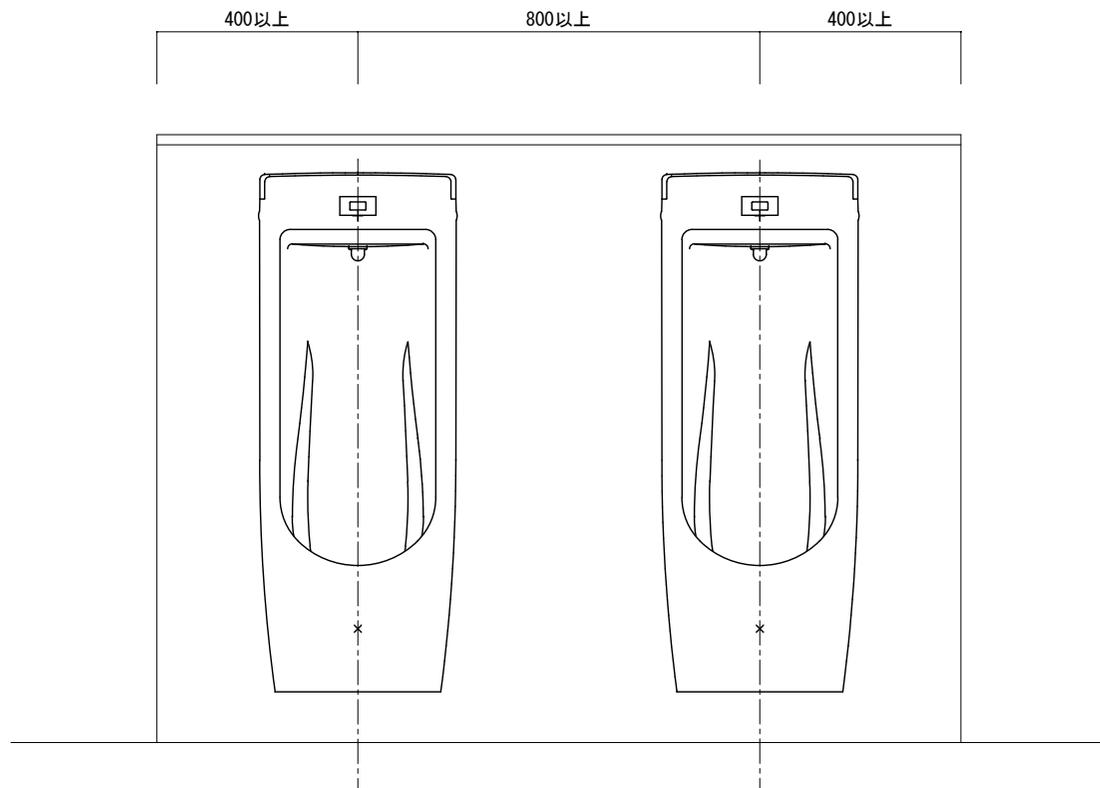
平成29年3月作成

目次

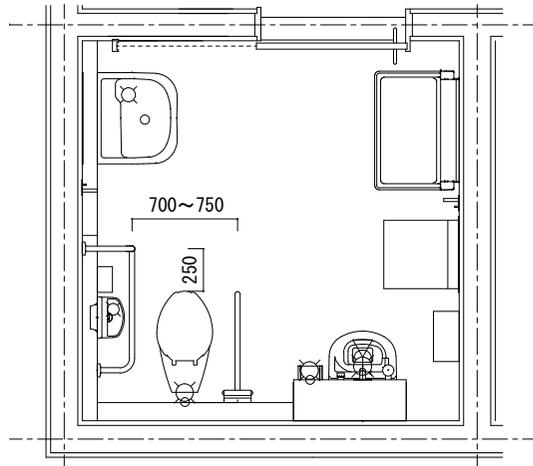
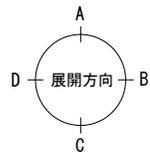
0 1	洋風便器取付標準図
0 2	和風便器取付標準図
0 3	小便器取付標準図
0 4	多目的便所標準図
0 5	洗面器取付標準図
0 6	電極棒水位レベル設定標準図
0 7	排水ポンプ水位レベル設定標準図
0 8	空調屋内機据付要領図（参考）
0 9	冷媒管端部等施工要領図
1 0	バルブボックス内配管行先表示（参考）





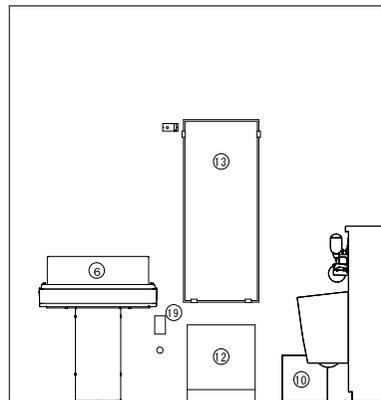


1. 小便器の据付間隔は図示寸法を標準とする。
2. 壁掛型小便器の受け口は床仕上げ面から350mm以下となるよう据え付ける。
(山口県福祉のまちづくり条例施行規則第3条別表第2)

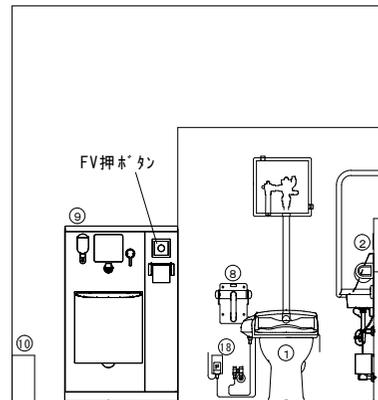


平面図

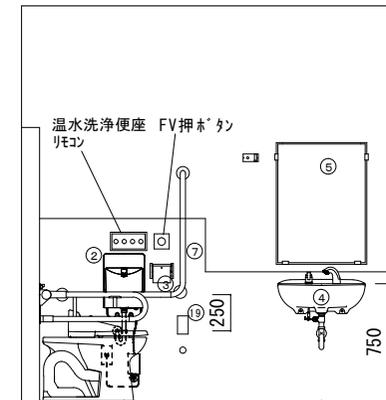
番号	器具名	仕様等	標準設置品	オストメイト対応追加品	オプション設置品	備考	県標準品番	TOTO参考品番	LIXIL参考品番
①	洋風便器	身体障害者用リフトリコンFV	○			ボックス形	C1111RFVS	C480A	C-P15SK
②	手洗い器	コンパクト型自動水栓	○			トラップカバー無し	L910	LSE570AP	AWL-71U2AM(P) (100V)
③	紙巻器	一連	○				E20	YH117	CF-32H
④	洗面器	身障者用平付ボックス無そで無	○				L511S	L103D	L-365APR
⑤	鏡	600×900	○			下端900H 公衆WCIは盗難防止型	E66	YM6090F	KF6090A
⑥	ベンチシート		○			置棚兼用	BS	YKA25	KFA23
⑦	L手すり	800×800 樹脂被覆	○			L910用 段付		T112CL11	KF927AEL80
⑧	はねあげ手すり	700L樹脂被覆	○			ロケ付		T112H7	KF-471EH70
⑨	汚物流しユニット	壁掛け汚物流し、リコンFV、 シングルバルブ型7分止水栓、電気 温水器3L、水石入れ、紙 巻器、フック、フリューム・ライニング一式		○		温水器1φ100V×600W 両側側板共	OSU	UAS73LDB UTR138S	PTOM-A210FLW PTOM-DSCR
⑩	汚物入れ	SUS(中箱樹脂)製6L、足踏式 300×330×150程度		○			E101	YKB102	KF-44
⑪	フック	ステンレス製 ステンレス製回転式		○		2箇所 固定では危険な箇所	E102	YKH21W	KF-25
⑫	着替え台	折畳み式、ABS樹脂製 450×500程度		○		コンパクト、TOTO、LIXIL	E103	YKA40	AC-CB-01
⑬	姿見鏡	※建築工事 500×1200H程度		○		下端650H			
⑭	温水洗浄便座	リコン洗浄式			○	給水及び電源・リコン線対応	TCF5502ERV82APF	CW-PA11F-NECK-UR	
⑮	背もたれ				○		EWC383GR		KFC-270T1U
⑯	棚				○	通常ベンチシートで代用			
⑰	折りたたみシート				○	ベンチシート・着替え台の代用	EWC500S		AC-US-01
⑱	コンセント	WP1ET							
⑲	非常押しボタン	引ひも付							
⑳	復旧押しボタン					H=1800			
㉑	換気			○		ONセンサー、OFF遅延タイマー(30分)			



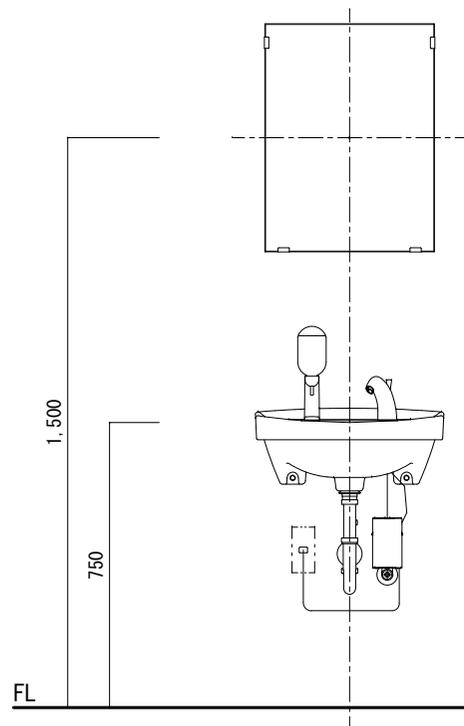
展開図 B



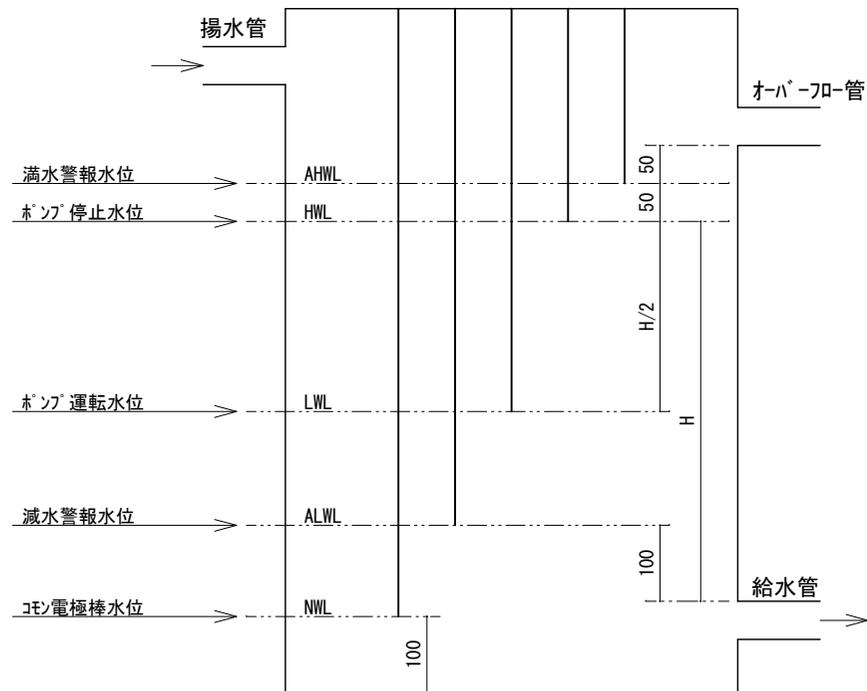
展開図 C



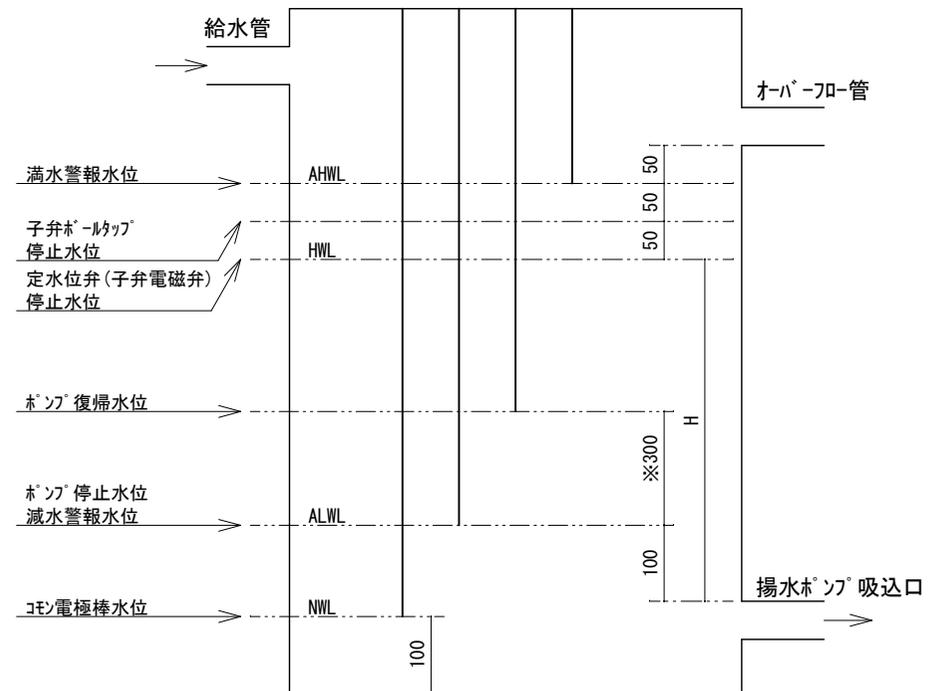
展開図 D



1. 衝撃による破損防止のため、鏡の裏に緩衝材を設けること。
2. 鏡の取付高さは一般庁舎での標準とし、施設用途等を踏まえ調整すること。



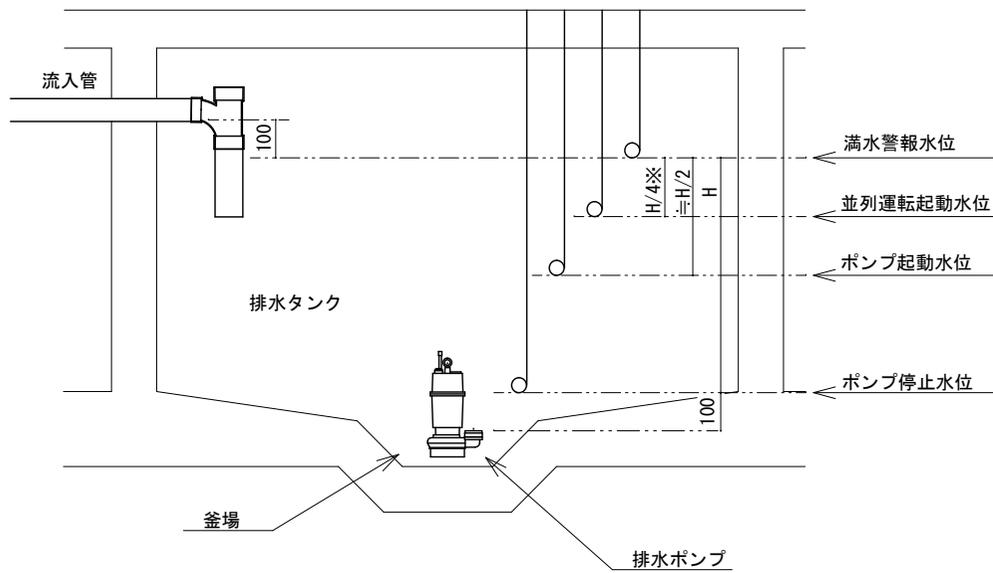
高架タンク



受水タンク

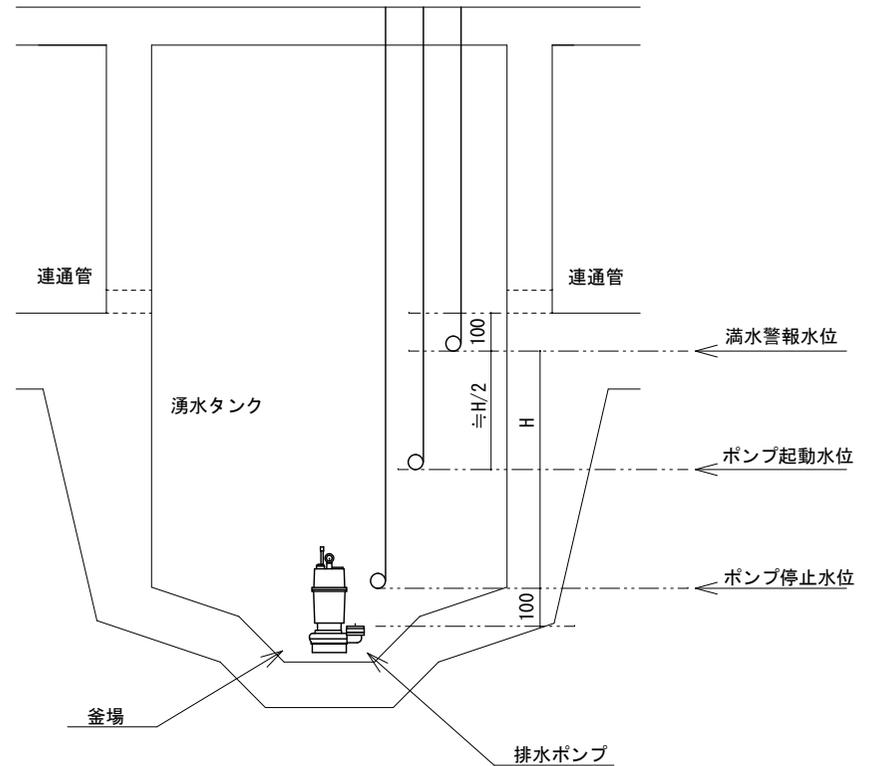
※寸法は現場状況により決定のこと。

1. 図の水位設定は標準的な設定であり、詳細は設備用途・施設状況により決定のこと。
2. 水位設定を示した図面等を黒表紙に綴じ込むこと。

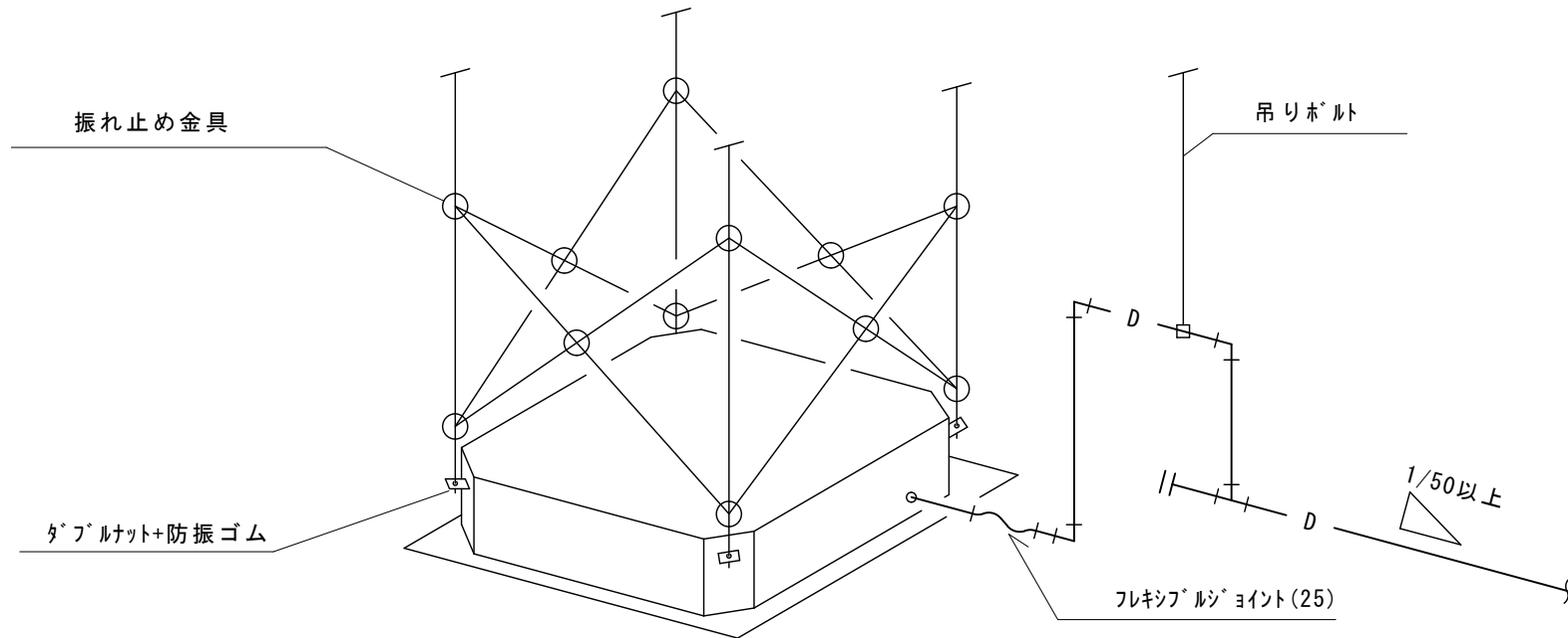


汚水雑排水タンク

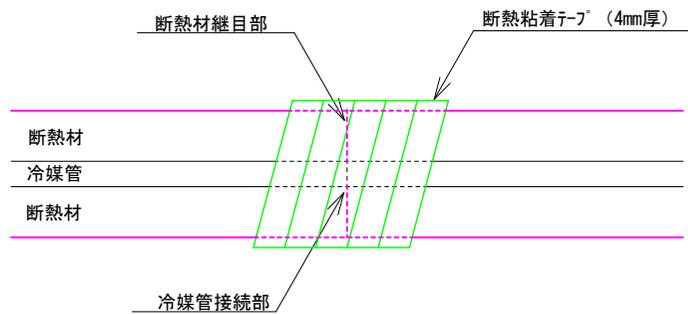
※水位レベルについては、施設状況及びポンプ能力により決定する。



湧水タンク



1. 機器は吊り用ボルトにダブレットにて固定する。
2. 天井吊形、カセット形の屋内機及び天井隠ぺい形全熱交換ユニットの吊り用ボルトには振れ止めを施す。
標準仕様書第3編 2.1.14、2.1.15 ※本図の振れ止めは参考例である。
3. 空調機ドレン管の振り上げ部に図示のとおり吊りをとる。



断熱材被覆銅管の接続部の継目部の処理

1. 断熱材を突き合せ、十分に密着させる。
2. 継目部に断熱粘着テープ1/2重ね巻きを行う。



断熱材被覆銅管端部の処理

1. 断熱材の端部をインシュロック帯で絞る。
2. 断熱材の断面をコーキングでしっかりと覆う。



1. 配管種別、系統名を明記する。
2. 必要に応じ「常時開」「常時閉」等記入する。